



Carl Zeissの技術を あなたの分光分析アプリケーションに。

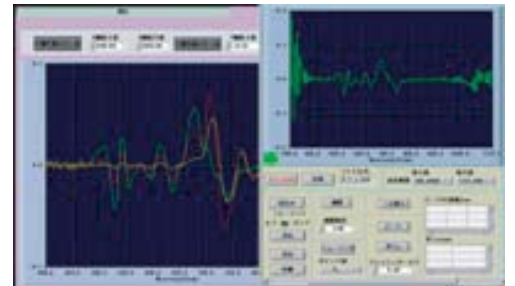
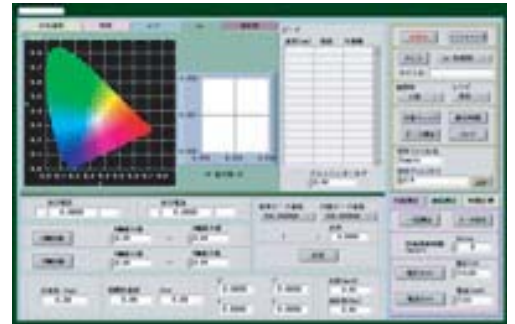


装置購入後、
すぐに測定!!

S/N比は
5000:1
A/D16bit

Carl Zeiss社製分光器内蔵分光装置
ハンディ・ラムダII

Handy Lambda II	310~1100nm対象
Handy Lambda II UV-VIS	190~720nm対象
Handy Lambda II UV-VIS2	250~785nm対象
Handy Lambda II UV	190~400nm対象



専用ソフトウェアは
わかりやすい日本語表記

▲表示例

スペース
シャトル内でも
使用!

Carl Zeiss社製分光器モジュール

◆装置組込でモジュールとして使用の場合◆



■超小型分光器 **MMS**

MMS 1	310~1100nm対象
MMS UV-VIS	190~720nm対象
MMS UV	190~400nm対象

■近赤外小型分光器 **PGS**

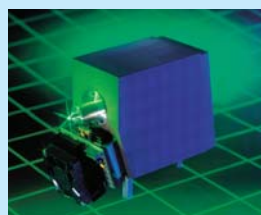
PGS NIR 1.7t1	960~1690nm対象
PGS NIR 2.2t2	1000~2150nm対象

■高分解能分光器 **MCS**

MCS UV-NIR	190~1015nm対象
MCS UV	200~620nm対象
MCS UV-VIS	300~720nm対象
MCS VIS	360~780nm対象
MCS NIR	680~1100nm対象

■二次元裏面入射CCD 高感度高分解能分光器 **MCS CCD**

MCS CCD UV	200~600nm対象
MCS CCD UV-NIR	200~980nm対象



小型分光器の分解能って、何…？

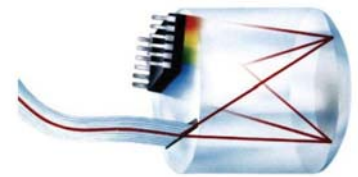
最近、各種小型分光装置の購入を検討している...あるいは購入済みのお客様から、このご質問を多数お受けします。

一般的に、各メーカー・商社が挙げる分解能は、検出スペクトルの半値全幅を指しています。

レーザー光やプラズマ光などのバンド幅が狭い対象においては、波長に対しての高分解能は必要です。

ですが、感度が要求される**分光分析**においては、波長分解能よりも**高感度**、そして**細分化されたS/N比**の方が重要です。

弊社取扱いの、独・Carl Zeiss社製分光器モジュールは、分光分析において多くの支持をいただき、その高感度性により、オフライン測定から現場インライン測定まで、幅広い分野で活躍しております。



高感度・高いS/N比 (5000:1) を誇る理由

